

こどもたちの生きづらさに向き合って ～コロナ時代を生きたこどもたち～

教育現場から見えてくるものは

2019年末から世界中で猛威を振るった新型コロナウイルスによってもたらされた様々な生活上の制約は、過去のものになりつつあります。しかし、不登校やいじめが過去最多になるなど、コロナ禍は現在のこどもたちの生きづらさにつながっています。

今回、講師を務めていただく原清治先生は、早くからコロナ禍がこどもや若者に与える影響について警鐘を鳴らしてこられました。そこで、本研修会では、先生のご講演をお聴きし、教育現場のパネリストが語る実態と合わせて、こどもたちが抱える生きづらさの本質に迫る機会にしたいと考えています。

■ 第1部 基調講演 13:00~14:00

ポストコロナにおける子どもたちの「生きづらさ」について考える

佛教大学教育学部教授 佛教大学副学長

はら きよ はる
原 清 治 先生



■ 第2部 パネルディスカッション 14:00~15:00

● コーディネーター 原 清治 先生

● パネリスト

富永 吉喜 先生 京都府教育委員会 高校教育課問題解決支援
コーディネーター
元京都府立学校長 元京都教育大学教授

菊井 雅志 先生 京都府教育庁 指導部 学校教育課総括指導主事

長澤 哲也 京都社会福祉士会 会長

佛教大学副学長 教育学部教授

教育社会学や学校臨床教育学、教員養成を専門としている。学校に起こる様々な問題の背景となる原因やそのメカニズムについて研究している。主著は『ネットいじめの現在 (いま)』(ミネルヴァ書房) 『使い捨てられる若者たち』は格差社会の象徴化か』(ミネルヴァ書房) 等多数

12.1 2024
Sunday
13:00-15:00

参加無料
定員 100 名
事前申込み
(先着順)

佛教大学 紫野キャンパス
成徳常照館(図書館)5階 常照ホール



申込み
方法

- (1) Google フォーム (右の QR コードをご使用ください。)
- (2) FAX (以下を明記の上、京都社会福祉士会事務局までお申込みください。)
① 講座名「公開講座 12/1」 ② 氏名 ③ 京都社会福祉士会員 (会員番号) / 一般 / 学生
④ 連絡先 (電話番号及び E-mail アドレス)
FAX: 075-585-5431

申込み
締切

2024
11/22



○受付完了のご返信はしていませんので、直接会場にお越しください。お申込み多数につき定員に達した場合のみ、ご連絡いたします。○ご連絡いただいた個人情報は連絡等に使用するため、外部に提供することは一切ありません。○会場への飲料の持ち込みは、ペットボトルや水筒などの「蓋つき飲料」に限ります。